

## ★ 水稻 葉いもち情報 ★

6月中旬に行った巡回調査では、南丹地域の補植用苗でいもち病を認めましたが、本田では発生を認めませんでした（平年並）。

一方、いもち病発生予察システム「BLASTAM」によると、**好適感染条件**が6月中旬以降、断続的に**広域で出現**（下表参照）していることから、7月1半旬に南丹地域を中心に28ほ場で調査を行いました。その結果、発生ほ場率は17.9%で、ほとんどが停止型病斑でしたが、1か所で**進展型病斑**を認めました。

气象台発表の近畿地方1か月予報（7月2日発表）によると、「**期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く**、後半は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。」とされており、今後しばらくは**感染に好適な条件が出現することも予想**されます。

これらのことから、今後の気象条件によっては、葉いもちが多発することも予想されます。

ほ場をよく観察し発生に十分注意してください。草が茂った畦畔沿いや水口付近、山かげや葉色が濃いほ場などは特に注意が必要です。発生を認めたら粒剤等で防除してください。なお、防除の際には、周辺ほ場に農薬が飛散しないよう十分に注意してください。

### BLASTAM(アメダス)判定結果（日本植物防疫協会）

	6月															7月									
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5
間人	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	3	●	-	-	-	-	-	-	●
宮津	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	3	3	●	-	-	-	-	-	-
舞鶴	-	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	-	●	-	3	-	●	-	-	-	●	-
福知山2	-	-	-	●	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	-	●	●	-	●	-	-	-	2	●	-
美山	?	-	-	●	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	-	●	-	-	●	-	-	-	-	-	-
園部2	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	●	-	-	-	-	●	-
京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	3	-	-	3	-	-	-	-
京田辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-

発生指標 ●:好適条件 湿潤期間中の平均気温が15℃～25℃であり、湿潤時間が湿潤期間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲にある。

—:好適条件なし 1～4:準好適条件 ? :判定不能